

■柳原白蓮 歌人。妾腹ながら叔母が大正天皇の母という家柄に生まれ、その拘束から脱した情熱的人生を歌に詠んだ。

やなぎはらびやくれん

内閣発足・・・1885＝

東京府麻布区(港区)で、_公卿の出で明治維新後は外交官として日清修好条約などに活躍、のち元老院議長・枢密顧問官などを歴任した柳原前光と芸者の間に生まれる。本名燐子。一旦里子に出されたのち、

初の対等条約1888＝ 3歳：生母が死去。

帝国憲法発布1889＝ 4歳：

大本教・・・1892＝ 7歳：柳原家に戻って、麻布南山小学校に入学。

日清戦争始・1894＝ 9歳：父が死去したため、北小路子爵家の養女となり、_叔母愛子は明治天皇に仕え大正天皇の母となった族柄で、美貌と文才に恵まれて育ち、

子規句歌革新1898＝13歳：華族女学校に入学。

ビア/国産化・1900＝15歳：当時の慣習にならい、中退し、_北小路子爵家の息子資武と結婚。

田中正造直訴1901＝16歳：男児を出産したが、_精神薄弱に近い資武との余りにひどい結婚生活に見かねた実家によって、

日比谷公園・1903＝18歳：

日露戦争始・1904＝19歳：

日露戦争終・1905＝20歳：_離婚させられ、子は夫の母に奪われた上、“出戻り”のため、幽閉に等しい生活を余儀なくされたが、

アララギ創刊・ 1908＝23歳：_東洋英和女学校に入学し、寮生活を送りながら、{竹柏会}に入り、佐佐木信綱に師事、

大逆事件判決1911＝26歳：_卒業。貴族院議員に出馬する兄の金欲しさもあって、名門の家柄を欲した“九州の炭鉱王”伊藤伝右門と、三者の利害が一致して再婚、“筑紫の女王”とうたわれるほど豪華な生活を送るが、夫が25も年上で、女中を兼ねた妾や母親不明の子供が何人もあるような溺れた生活に飽き飽きし、

明治天皇没・1912＝27歳：*歌誌{心の花}に短歌を発表し始め、

21ヶ条要求・1915＝30歳：_第一歌集「踏絵」を発表して注目をあびる。

ロシア革命・1917＝32歳：_筑豊疑獄事件が起こって、翌年まで法廷に立ち、

本格政党内閣1918＝33歳：_ {大阪朝日}が「筑紫の女王・燐子」を連載。

ベルサイユ条約・1919＝34歳：_「幻の華」を刊行。詩歌集「几張のかげ」。翌年につけ、陸軍中尉藤井民助と文通。

大暴落・・・1920＝35歳：_雑誌{解放}の編集者をしていた東京帝大法学部生で国家社会主義運動家宮崎龍介(宮崎?天の子)が、戯曲「指蔓外道(しまんげどう)」上演依頼に訪れ、運命の出会い。人妻の恋愛が姦通罪として制裁されていた時代に、恋に身を投じ、宮崎の子を宿し、

原敬首相暗殺1921＝36歳：*ついに夫と上京した際に姿を消し、公開絶縁状を{朝日新聞}に掲載、夫が{毎日新聞}にその反論を載せて、世の話題をさらった。

水平社結成・1922＝37歳：_華族からの除籍と総ての財産没収により離婚が成立。実家の一室に閉じこめられ、そこで男児を出産。

関東大震災・1923＝38歳：_<関東大震災>のどさくさのおかげで、ようやく結婚、宮崎との親子三人の生活が現実のものとなる。平民となり、以後、経済的には苦しい思いをするも、6つ下の宮崎と添い遂げる。

治安維持法・1925＝40歳：_長女を出産。歌集「紫の梅」を刊行。

円本時代始・1926＝41歳：(夫龍介が{社会民衆党}中央委員となる。)

共産党事件・1928＝43歳：*歌集「流転」を刊行、情熱的な短歌で一世を風靡した。自伝的小説「荊棘の実」を刊行、

世界恐慌・・・1929＝44歳：(夫龍介が中野正剛らと{国民外交協会}を設立、{社会民衆党}を脱退して、)

海軍軍縮条約1930＝45歳：_({全国大衆党}を設立。)

満州事変・・・1931＝46歳：夫と中国旅行。

国際連盟脱退1933＝48歳：(以降、夫龍介が民族主義運動に専念するようになる。)

芥川直木賞始1935＝50歳：_歌誌{ことだま}を創刊し、主宰。目白で学生下宿屋を始める。

二二六事件・1936＝51歳：<二・二六事件>後、(夫龍介が同志と{二月会}を結成。)

日中戦争始・1937＝52歳：<日中戦争勃発>で(夫龍介が近衛文麿首相の密使として国民政府と交渉しようとし、直前に逮捕される。)

第二次大戦始1939＝54歳：(夫龍介が東方会に加入。)

日米開戦・・・1941＝56歳：

敗戦・・・1945＝60歳：_学徒出陣中の愛児香織が鹿屋基地で戦死、

新憲法公布・1946＝61歳：_NHKに出演したことから、平和運動に参加、国際慈母の会を結成し、全国を巡って講演活動。

新憲法施行・1947＝62歳：この年、かつての夫伝右衛門が死去。

極東裁判決・1948＝63歳：

独立回復・・・1951＝66歳：

国連加盟・・・1956＝71歳：歌集「地平線」を刊行。

なべ底不況・1957＝72歳：

安保闘争・・・1960＝75歳：

タイタイ病始・1961＝76歳：_緑内障で失明。以後、夫の介護のもとに、作歌を続け、

いざなぎ景気1966＝81歳：

美濃部都知事1967＝82歳：_夫宮崎龍介より前に、没した。

「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，「女たちの20世紀・100人」，「日本の女性」，インターネット，